

2023 年新年の挨拶

JABM 会長
森本技術コンサルティング
森本 耕一郎



新年おめでとうございます。皆様おすこやかに新年をお迎えのことと存じます。これまで BM News 4 月号では、賀詞交歓会で行った新年のご挨拶を掲載していましたが、今年も感染症対策のため交歓会を中止しましたので、改めて本稿でご挨拶いたします。

個人的な話になりますが、昨年 12 月初旬、久しぶりに東京ビッグサイトで開催されていた展示会に行きました。国際粉体工業展という粉末の製造やハンドリング、試験評価などに関する設備機器の展示会です。仕事に必要な機械を調査するために訪れました。幸いにも望みの機種、メーカーを探し当てることができ、行った甲斐があったのですが、驚いたのは人出の多さです。この展示会は、内容からお分かりのように、車や半導体などの見本市と違って大変地味なものです。それにもかかわらず盛況で、半年前に行った別の展示会では閑古鳥が鳴いていたのと全くの様変わりでした。

その後年末年始に掛けて、感染力の強いオミクロン株による第 8 波の感染拡大が起きました。またこの原稿を書いている時点で、中国ではゼロコロナ政策の急激な緩和が大きな混乱を招いています。コロナは未だ終息には至りませんが、前述の展示会の風景にみられるように、With コロナと呼ばれるコロナとの付き合い方に人々が慣れ、社会経済活動のフル回転がすでに始まっています。今年は、この 3 年間のコロナ禍で失ったもの、停滞していたものを取り返す一年にしたものです。

当協会の活動状況ですが、昨年 2022 年も感染症対策のため、ほぼ全ての活動をオンラインで行いました。技術例会、軟磁性材料研究会、寺子屋 BM 塾、BM シンポジウムといったイベント、そして機関誌 BM News の刊行、ボンド磁石の生産推計頒布といった活動、これらを大きなトラブルなく予定通り行うことができました。

特にイベントについては、参加者アンケートの結果を見ますと、テーマ設定や講演、講義の内容は勿論ですが、オンライン向きに休憩回数を多くとるよう改善した時間配分なども含め、全般的にご好評を頂けたようです。

協会の収支状況は、当期 2022 年度も黒字で、前年度および前々年度とほぼ同額の剰余金が出る見込みです。この 3 年間の黒字は、コロナ対策で活動がオンラインになったため経費が減ったという特殊事情が大きいのですが、この点を除きましても、当協会の収支は、ここ約 10 年間黒字幅がやや拡大する傾向にあります。これは、誠に有難いことに会員数が増加し会費収入が増えていることと、協会の経費節減努力によるものです。この黒字基調の収支状況に関しては、会員の皆様への還元を考えており、追って具体的な内容をご連絡申し上げます。

協会の体制についても触れます。この業界で実力と実績を認められた 6 名の方に理事に就任してもらいました（内 5 名は技術委員兼任）。かなり大幅な増員ですが、強力な布陣になったと思います。今後、協会活動の拡大および活性化に向け大いに活躍してくれるものと期待しています。

さて、この 3 年間コロナ対策のためオンラインで実施してきた技術例会、寺子屋 BM 塾、BM シンポジウムなどのイベントは、今後何か大きな問題が出ないかぎり、オンラインとオンサイトを併用するハイブリッド方式で実施することにします。言わば二つの方式のいいとこ取りですが、特に対面での活動再開の部分については、会員のネットワーキングの場たる協会の役割が再び大切になってきます。関係者が交流する機会となるイベントに関して、より多くの皆様が集えるよう魅力的な企画の立案に努めてまいります。

今年も政治、経済、社会ともに不透明な一年になりそうですが、我々の磁性材料の分野は、

今後大きな可能性があります。足元の混迷の先にある未来を見据えて、会員の皆様のための活動を継続してまいります。

最後になりますが、本年が皆様にとって、干支であるうさぎのように飛躍のある輝かしい年になることをお祈り申し上げます。